

1. 飲水の取り方について

- 1) 飲水タイムは設けない
- 2) 飲水はアウトオブプレーのとき、タッチライン、ゴールライン上に限って水を飲んでよい。水の入ったボトルなどをフィールド内に投げ込むことは禁じられている。タッチライン、ゴールラインから1m以上離れたところにボトルを置くことができる。
- 3) フィールド内への水の投げ込みは禁止
- 4) ライン上なら手渡ししても良い
- 5) インプレー中の飲水は警告（理由：反スポ）

2014年度から飲水タイムを設ける

2. ユニフォーム規定について

規定に従わないユニフォームで試合を行うことはできない。当該チームの棄権試合とする。運営および審判は、出場選手のユニフォームをチェックすること。規定に従わないユニフォームで試合を行った場合、当該チームおよび運営・審判にペナルティを課す場合がある。

ユニフォームの枚数が足りない場合でも、規定外のユニフォームは使用できない。最低競技者数（GK1名、FP7名）に満たない場合、当該チームの棄権試合とする。

3. 主審または副審が体調不良で交代する場合

- 1) 第4の審判員が入る。主審が交代する場合、代替りの主審を副審が行うのか第4の審判員が行うのかは事前打合せで決めておく。第4の審判員の役割は運営が行う。
- 2) 審判団に欠員が出た場合、運営が入る。その場合、有資格者で足りなければ無資格者を入れるが、主審は有資格者のみとする。

4. 装身具について

- 1) 全ての装身具（ネックウォーマー、ネックレス、指輪、ブレスレット、イヤリング、バンドなど）は、厳しく禁止されており、外すものとする
- 2) 装身具をテープで覆うことは認められない
- 3) 結婚指輪であっても外す（テープを巻くのは不可）
- 4) 審判員も装身具を身に付けることはできない
- 5) スポーツメガネであっても突起のあるものは不可、ゴーグルのように突起のないモノは使用できる
- 6) 試合中に装飾品を発見した場合、主審は警告する
  - ① 主審は、次に競技が停止されるのを待つ。
  - ② その競技者は警告され、イエローカードが示される。
  - ③ その競技者は、装身具を取り外すため、フィールドから出るように指示される。
  - ④ 装身具が取り外されたことが確認されたならば、ボールがアウトオブプレー中に復帰が認められる。